

第1号様式(第10条関係)

令和 5年 4月 27日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 無所属

代 表 者 名 赤嶺 昇 印

令和4年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和4年度 政務活動費収支報告書

会派名 赤嶺 昇

1 収 入 政務活動費 1,200,000 円

2 支 出

(単位:円)


項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	184,694	台湾視察調査旅費代金等
研 修 費		
広聴広報費	803,405	議会報告書作成・ポスティング・ 沖縄タイムス著作権費用・琉球新報著作権費用
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費	22,644	公明新聞
事 務 費	191,279	紙折り機・パンチ・マイクロSDカード・ペーパーカッター ・プリンターインク
人 件 費		
合 計	1,202,022	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 0 円

調査研究費

2 (社)様専用

領 収 証		TZ № 021815
RECEIPT		2023年 2月 3日
赤嶺 昇 様		
領収金額	7176000	
上記金額には消費税等¥ _____ が含まれています。		
但し、 <input type="checkbox"/> 航空券代金 <input type="checkbox"/> クーポン券代金 <input checked="" type="checkbox"/> 団体旅行代金 <input type="checkbox"/> 申込金として		
上記正に (現金・クレジットカード・) で領収致しました。		
発行店TEL	0988572222	
発行店	07 営業本部	
発行者		
		沖縄ツーリスト株式会社 経理部 沖縄県那覇市松尾

調査研究費 充当額 ¥176,000

充当割合 10/10 (政務活動のための旅費)

調査研究費

2023年 2月 7日(火)

赤嶺昇 収 証 様

¥8,694-

上記正に領収し

OKINAWA 化屋雑貨店 久茂地店

〒900-00

沖縄県那覇市 久茂地 3-2-24

TEL 098-63-3901

※保管上の

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

0003-1240-1298

調査研究費 充当額 ¥8,694
充当割合 10/10 (視察先へのお土産 7か所分)

赤嶺昇台湾視察団

調査研究費

旅行期間: 令和5年2月08日(水)～2月11日(土) 3泊4日

集合場所・時間: 那覇空港国際線3階チャイナエアラインカウンター前

09時30分【時間厳守】

出発便名・時間: チャイナエアライン(CI)121便

11時55分 発

NO	月日	時間	行程	食事	宿泊地
一日目	2/08 (水)	09:30 11:55 12:35 午後 夕刻	那覇空港国際線3階チャイナエアラインカウンター前集合 那覇発チャイナエアライン121便にて台湾へ 桃園国際空港到着～入国審査・税関審査 専用車にて視察へ ○台北市議会 表敬訪問 ○日本台湾交流協会 意見交換会 (台湾の経済事情について) ○台湾日本関係協会 意見交換会 終了後、ホテルへ ホテル到着～チェックイン 沖縄県人会との懇親会 台北を代表する人気の夜市『士林夜市』視察	機内 夕食	台北市内
二日目	2/09 (木)	午前 午後 夕刻	ホテルにて朝食 専用車にて視察へ ○エネルギー関係視察(視察先選定中) ★新竹市内レストランにて昼食 ○TSMC 台積創新館(創業と発展の歴史を学びます) ○新竹科学園区探索館(最先端技術を体感します) 終了後、ホテルへ ホテル到着 市内レストランにての夕食会 ご希望のお客様はランタンフェスティバルへご案内いたします。 地元住民と観光客で賑わう『饒河街観光夜市』視察	朝食 昼食 夕食	台北市内
三日目	2/10 (金)	午前 午後 夕刻	ホテルにて朝食 専用車にて視察へ ○KAVALAN 視察(カバランウィスキーの蒸留所) ★台北市内レストランにて昼食 専用車にて台北市内視察へ ○留学受け入れ大学(東呉大学 専任講師 長田 正民氏) 概要説明及び意見交換会 ○大原旅行社(ワーキングホリデー、人材育成について意見交換会) 終了後、ホテルへ ホテル到着 市内レストランにての夕食会 グルメ屋台が中心な『寧夏路夜市』視察	朝食 昼食 夕食	台北市内
四日目	2/11 (土)	早朝 06:15 08:15 10:45	ボックス朝食対応 専用車にて桃園国際空港へ 桃園国際空港到着～搭乗手続き・出国手続き～ 台湾発チャイナエアライン120便にて沖縄へ 那覇空港到着～入国手続き・税関検査 ご参加有難う御座いました。	軽食	***

※上記時刻は現地での交通状況等の事由により、多少前後する可能性があります。

〈宿泊予定〉

地区	ホテル名	住所	電話番号
台北	ホテルグレイスリー台北 HOTEL GRACERY TAIPEI	台北市中正区忠孝東路二段 89 号	+886-2-23220111

観光庁長官登録旅行業第155号 沖縄ツアーリスト(株) 営業本部

責任者: [REDACTED] 担当: [REDACTED]

〒901-0155 沖縄県那覇市金城 1-12-17 TEL:098-857-2222 FAX:098-857-2200

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和5年2月8日（水）～2月11日（土）			
場所	台湾 台北市内			
相手方	①台湾日本関係協会 ②台北市議会 ③チャイナエアライン ④台湾大昇養殖場 ⑤政府消防局防災科学教育館 ⑦KAVALAN ⑧東呉大学			
目的	コロナ後の台湾の政治、経済、観光、教育、防災等の視察調査			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	2/8	15:00	台湾日本関係協会	台湾日本関係協会表敬、意見交換
	2/8	17:00	台北市議会	台北市議会議長表敬、意見交換
	2/8	10:00	チャイナエアライン	中華航空関係者表敬、意見交換
	2/9	13:00	台湾大昇養殖場	台湾での魚の養殖場の視察調査
	2/9	15:00	政府消防局防災科学教育館	防災科学教育館の視察調査
	2/10	10:00、14:00	KAVALAN、東呉大学	KAVALANウイスキー、東呉大学視察調査
内容	<p>◎台湾日本関係協会関係者と沖縄と台湾の経済、観光、教育等の意見交換。 ◎台北市議会議長と沖縄と台湾の経済、観光、教育等の意見交換。 ◎中華航空関係者と那覇台北便の増便に向けた課題について意見交換。 ◎台湾の魚の養殖場技術と販路に向けた取り組みを視察調査。 ◎政府消防局防災科学教育館において、台湾における防災への取り組みについての意見交換及び視察調査。 ◎KAVALANウイスキー工場の視察調査と意見交換。 ◎東呉大学関係者と日本沖縄からの留学状況や費用についての意見交換及び施設見学。</p>			
成果及び所見	<p>世界的に猛威を振るったコロナ感染症は、沖縄台湾との経済、観光、人的交流にかなり影響を与えたため、台湾と一刻も早くさまざまな分野での交流再開を果たすため、3泊4日の日程での視察調査を行いました。</p> <p>◎台湾日本関係協会関係者と沖縄と台湾の経済、観光、教育等の意見交換では、今後さらに連携強化を図って行きましようとの約束と共に、県議会の沖縄台湾議員連盟で本年議員団で訪台する予定であることを伝えました。</p> <p>◎台北市議会議長と沖縄と台湾の経済、観光、教育等の意見交換では、沖縄と台北市議会議員の交流と共に青少年の交流も活性化して行きたい旨を伝えました。</p> <p>◎中華航空関係者と那覇台北便の増便に向けた課題について意見交換では、中華航空より那覇空港国際線ターミナルにおける保安検査員の増員と保安検査機の増設等について要望を頂きました。中華航空としては、積極的に増便をして行きたい旨の提案を頂きました。◎台湾の魚の養殖場技術と販路に向けた取り組みを視察調査では、沖縄と台湾の養殖、販路の連携について話し合いました。</p> <p>◎政府消防局防災科学教育館において、台湾における防災への取り組みについての意見交換及び視察調査では、台湾が東日本大震災から学んだ事の取り組みについての説明を頂きました。</p> <p>◎近年、台湾産のKAVALANウイスキーが世界的にヒットしている実績を見学しました。 ◎東呉大学では、日本沖縄から学生の受け入れの実績と更なる可能性を伺いました。</p>			
備考				

統一様式①

経費区分別支出一覧表

経費区分 広聴広報費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
3/31	議会報告書作成	542,520	全額	542,520
4/15	ポスティング代金(令和3年作成分)	246,356	99.2/100	244,385
3/28	沖縄タイムス社 著作権費用1	4,950	全額	4,950
3/31	沖縄タイムス社 著作権費用2	4,950	全額	4,950
4/3	琉球新報 著作権費用1	3,300	全額	3,300
3/30	琉球新報 著作権費用2	3,300	全額	3,300
A. 小計				803,405
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計		/	/	803,405

令和5年3月31日

領収証

No 008191



印刷、まごころがテーマです。

株 尚 生 堂

代表取締役 與那根 隆雄

本社 / 〒901-2114 沖縄県浦添市支庁
 TEL (098) 876-2232 FAX (098) 876-2233
 那覇支店 / 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1丁目7番12号 3F
 TEL (098) 869-0568 FAX (098) 869-0578
 読手納支店 / 〒904-0203 沖縄県読手納町字嘉手納440
 TEL (098) 957-1671 FAX (098) 957-1671
 うるま支店 / 〒904-2204 沖縄県うるま市西原578-2F
 TEL (098) 989-7338 FAX (098) 989-7383

赤嶺 昇 殿

下記の金額正に領収致しました

合計金額 ¥542,520-

品 目	数 量	単 価	金 額
議会報告書	54,800部	9	493,200
現金			
小切手			
手形			
相殺			
振込			
消費税			49,320
合計			¥542,520



き立て
させていただきます

広聴広報費 充当額 ¥542,520

充当割合 10/10 (政務活動のための資料作成)

領収証 赤嶺昇

No. _____

様 登録番号

金額

7 2 4 6 3 5 6 -

但し 22,396部 ポスティング代金と致しまして
R4年 4月 15日 上記正に領収いたしました

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
税率	金額 (振込・税込) 消費税額等
%	
税率	金額 (振込・税込) 消費税額等
%	



株式会社 ポスティングBees
〒902-0084 沖縄県那覇市寄宮3丁目2番17号 大城ビル5F
TEL: 098-875-0484

広聴広報費 充当額 ¥244,385

充当割合 99.20% (政務活動のための資料配布)
¥246,356 × 99.2% = ¥244,385

広報紙充当可能割合確認票

議員名

赤嶺 昇

広報紙名	紙面割合
和歌山県議会議員 赤嶺 昇 議会報告書	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積：$40.7\text{cm} \times 27.3\text{cm} \times 8\text{面} = 8888.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事：面積計＝70cm^2 ①$4.3\text{cm} \times 6.6\text{cm} = 28.4\text{cm}^2$ ②$5.8\text{cm} \times 3.3\text{cm} = 19.2\text{cm}^2$ ③$3.1\text{cm} \times 3.2\text{cm} = 10\text{cm}^2$ ④$3.1\text{cm} \times 4\text{cm} = 12.4\text{cm}^2$ ●充当可能割合：$1 - (70\text{cm}^2 / 8888.8\text{cm}^2) = 0.9921 \approx 99.2/100$以下



沖縄県議会議長

赤嶺ノボル

県議会報告書

Speaker Okinawa Prefectural Assembly Japan

Noboru Akamine

1 沖縄県議会基本条例〔抜粋〕

本県は、明治12年(1879年)に琉球藩の廃止により沖縄県が設置され、明治42年(1909年)6月には沖縄県議会が初めて開設された。その後、さきの大戦による惨禍を初め、戦後27年間米国の施政権下に置かれるなど幾多の歴史の変遷を経た。

県民を代表する我が議会は、先人らの深い郷土愛、英知と努力により、県民とともに苦難の歴史を乗り越え、再び戦争の惨禍が繰り返されないことがないよう恒久平和の実現を目指し、現在に至っている。

中でも、昭和27年(1952年)4月、琉球政府の設立とあわせて発足した立法院は、米国軍政下の布告、布令等という厳しい制約にありながら、唯一住民を代表する機関としての役割を果たし、復帰までの20年間その権能を発揮して住民福祉向上のための立法、住民の権利獲得のための決議等を精力的に行ったことを、我々議員人は忘れてはならない。

復帰後、新生沖縄県議会は、日本国憲法及び地方自治法に基づく議事機関として新たな一歩を踏み出し、立法院からの伝統である自由闊(かっ)達な議論の尊重など、県民を代表する県議会としての役割を果たしているところである。

ところで、時代は地方分権改革のさなかにあって、地方自治を取り巻く環境は大きく変化しており、ともに県民の直接選挙により選出された知事と議会が対等で切磋(さたく)磨(り)の関係にある二元代表制の一翼を担う議会の果たすべき役割と責務はこれまで以上に増大している。

このような中、議会の基本理念、議員の責務、県民視点からの議会改革の推進等を明らかにするとともに、知事等執行機関との関係を新たに構築し、共通の目標である県民福祉の向上及び県勢の発展に尽力することが求められている。

ここに、我々沖縄県議会議員は、自らの権能と責務の重さを深く自覚し、県民の負託と信頼に全力でこたえることを決意し、議会の基本となる条例を制定する。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、沖縄県議会(以下「議会」という。)の基本理念、沖縄県議会議員(以下「議員」という。)の責務及び活動原則、議会運営の原則等を定め、議会及び議員の役割を明らかにするとともに、県民と議会との関係、知事その他の執行機関(以下「知事等」という。)と議会との関係等、議会に関する基本的事項を定めることにより、議会がその機能を高め、県民の負託に的確にこたえ、もって県民福祉の向上及び県勢の発展に寄与することを目的とする。

(基本理念)

第2条 議会は、二元代表制の下、その役割を適切に果たすことができるよう、議会の自主性及び自立性を高め、県民を代表する機関として、その権能を最大限に発揮することにより、地方自治の確立に取り組むものとする。

2 議会は、市町村を包括する広域の自治体の議決機関として、広く県政全般の課題を把握し、多様な県民の意思の調整を図り、県政に適切に反映させるものとする。

3 議会は、議会活動(議会の権能を遂行する活動をいう。以下同じ。)に関する情報公

開を推進し、議会の意思決定過程の透明性の向上を図るとともに、県民に開かれた議会運営を行うことにより、議会活動について県民に説明する責務を全うするものとする。

第2章 議員

(議員の責務)

第3条 議員は、選挙により選出された県民の代表者として、県民全体の利益を考え、その負託と信頼にこたえるため、広く県政全般の課題及びこれに対する県民の意思を的確に把握し、議会活動を通じて県政に反映させる責務を有する。

(議員の活動)

第4条 議員は、前条の責務を果たすため、次に掲げる活動を行うものとする。

- (1) 県民との意見交換等により県政に関する県民の意思を把握すること。
- (2) 県政の課題及び施策に関する情報収集、調査研究及び提言を行うこと。
- (3) 知事等の事務の執行が、適正かつ公平に、及び効率的に行われているかどうかを常に監視するとともに、これが成果をあげたかどうかを評価すること。
- (4) 本会議、委員会(常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会をいう。以下同じ。)及び議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場(以下「会議等」という。)に出席し、審議、審査等(以下「審議等」という。)を行うとともに、必要に応じて議案を提出すること。
- (5) 前各号の活動及び議会活動に関する県民への広報及び説明を行うこと。

(政治倫理)

第5条 議員は、県民の負託により、県政に携わる権能と責務を有すること、自らに重大な使命と高い倫理的義務が課せられていることを深く認識し、県民全体の奉仕者としての自覚を持ち、公正、誠実及び清廉を基本として、常に品位を保持し、及び識見を養うよう努めなければならない。

第5章 知事等と議会との関係

(知事等との関係)

第14条 議会は、二元代表制の下、議決権を有する議会の権能と執行権を有する知事等の権能との違いを認識し、かつ、知事等の役割を尊重しつつ、対等で緊張ある関係を保ちながら、自らの権能を最大限に発揮し、共通の目標である県民福祉の向上及び県勢の発展に向けて活動しなければならない。

(監視及び評価)

第15条 議会は、知事等の事務の執行が、適正かつ公平に、及び効率性をもって行われているか監視するとともに、その効果及び成果について評価し、必要と認める場合には、知事等に対し、適切な措置又は対応を講ずるよう求めるものとする。

附則

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附則

この条例は、地方自治法の一部を改正する法律(平成24年法律第72号)附則第1条ただし書の政令で定める日(平成25年3月1日)から施行する。

皆様の積極的なご提言をお待ち致しております。
又、行政相談等お困りのときは、お気軽にご連絡下さい。
こちらからお伺いさせていただきます。

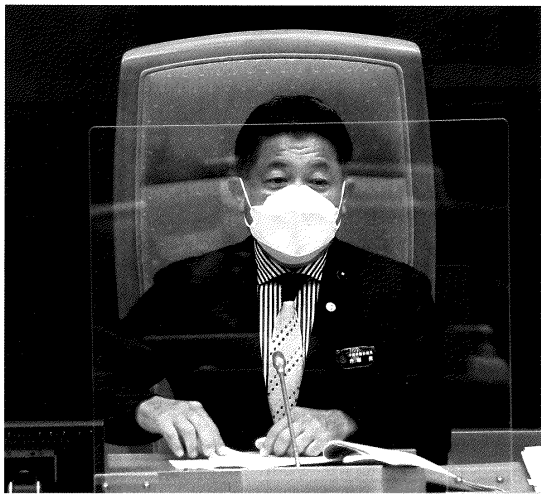
議員
事務所

〒901-2114
沖縄県浦添市安波茶3丁目5番2号

(内部資料)

赤嶺ノボル
連絡先

携帯090-2586-4722
MAIL noborunoboru777@yahoo.co.jp



第18代沖縄県議会議長に御選任いただきました赤嶺昇でございます。議長という重責を担いますことは、誠に身に余る光栄であり、その使命と職責の重さに、身の引き締まる思いであります。

県議会では、優しさと潤いのある沖縄らしい地域社会の実現を目指し、二元代表制の一翼を担う存在として、行政に対する監視機能を果たすとともに、執行部への積極的な政策提言を行っております。

また、開かれた県議会の実現に向け、情報公開、情報発信及び議会改革の推進に力を入れており、県民にとってより身近な県議会となるよう取り組んでおります。

コロナ禍の影響が今も続いておりますが、県議会は県民の皆様を最優先に支えるべく、不安解消に向け、新型コロナウイルス感染症拡大防止や地域経済・雇用の対策を迅速に切れ目なく取り組んでまいります。

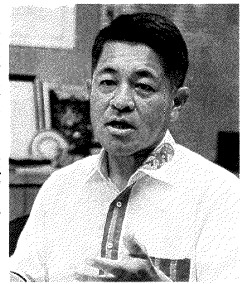
今後とも、県議会が県民の負託と信頼に応えることができますよう、円滑で公正な議会運営に誠心誠意努めてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

沖縄県議会議長 赤嶺 昇

人物 地帯

第18代県議会議長に就任した

あかみねのぼる
赤嶺昇さん



与党会派に属しながら、野党・中立から推される異例の選出劇。「与野党の枠組みにとらわれず、議論を深める議会運営をしたい」と意気込む。

生まれはブラジル・サンパウロ。11歳まで暮らし、両親と沖縄へ戻った。当時、話せたのはポルトガル語と両親が使う方言だけ。6年生の年齢だが、編入した浦添市内の小学校では3年生と学び、高校卒業は20歳を超えていた。

沖縄に来て一番驚いたのは、給食と無償で配布される教科書。「日本はすごい国だ」と感心した。

政界に入った契機は1995年。民間会社に勤めていた時、米兵による暴行事件が起きた。「絶対に許せない」。当時は青年会活動にも力を入れていた。就職後の定着率の低さなど、若年層を取り巻く生活環境の課題も感じていた。

97年に浦添市議へ初当選。自身も含め周囲は子育て世代で、基地問題とともに認可外保育園の支援に注力した。2004年、37歳で県議に。児童福祉分野に傾注し、5期のうち3期は文教厚生委員会での子育て支援などに取り組んだ。

沖縄に来て以来、仲間を支えられた。市議初挑戦の時は仲間がイベントのお化け屋敷でお化け役を買って出て選挙資金を捻出。今は毎日1時間、市内を自転車で回り市民と交流する。

妻昌枝さん(50)と3人の子育ても落ち着いた。「子どもが小さい頃はよくキャンプにも出かけたな」と目尻を下げる。53歳。

(政経部・大野亨泰)

議論深める議会に

て世代で、基地問題とともに認可外保育園の支援に注力した。2004年、37歳で県議に。児童福祉分野に傾注し、5期のうち3期は文教厚生委員会での子育て支援などに取り組んだ。

沖縄に来て以来、仲間を支えられた。市議初挑戦の時は仲間がイベントのお化け屋敷でお化け役を買って出て選挙資金を捻出。今は毎日1時間、市内を自転車で回り市民と交流する。

妻昌枝さん(50)と3人の子育ても落ち着いた。「子どもが小さい頃はよくキャンプにも出かけたな」と目尻を下げる。53歳。

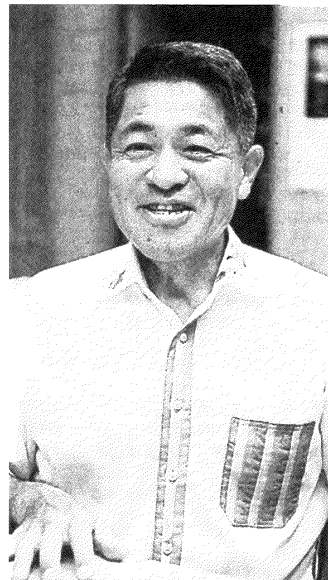
(政経部・大野亨泰)

2020年7月3日 沖縄タイムス

第18代県議会議長 に就任した

ひと

あかみねのぼる
赤嶺昇さん



県議5期目、第18代県議会議長に就任した。米軍基地問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策、新たな沖縄振興計画の策定と課題山積の中、「議会の役割がますます必要とされる時期だ。沖縄県、沖縄県民のためになる議会運営を議員各位と目指す」と語る。

生まれはブラジル・サンパウロ。11歳で家族と共に沖縄に引き揚げ、父の出身地の浦添市で小学校に通った。当時は日本語が全く話せず、三つ下の小学3年生の同級生と机を並べた。

驚いたのは、児童全員が食べられる学校給食と教科書の

軸は「県民のために」

② 外部

無償配布。国土が広く資源も豊かな一方、貧富の差が激しく治安が不安定なブラジルと比べ、「日本がすごいのはやっぱり教育だ」と痛感した。

青年会活動をしていた29歳の時、浦添市議に初当選した。1995年の米兵による少女暴行事件で基地問題に関心をもち始め、県外での季節労働を繰り返す周囲の若者たちを見ながら就職・定着率に関心があった。ただ議員の仕事の詳細を知っていたわけではなく「勢いで出た」と笑う。

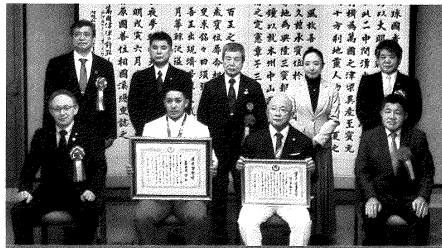
政治家としてライフワークとなったのは、待機児童や認可外保育、学童保育など児童福祉の問題。自身の幼少時や子育ての経験も踏まえ、「子どもの政策をやりたくて」県議になり、文教厚生委員長や県議会副議長を務めた。

妻昌枝さんと2男1女の子育ても落ち着き、休みの日は1日1時間以上は自転車で浦添市内を回り、市民と触れ合う。53歳。

3,3cm

2020年7月2日 琉球新報

活動写真



式典(県民栄誉賞・スポーツ指導者特別賞)
令和3年9月15日



西銘大臣との懇談
令和3年10月9日



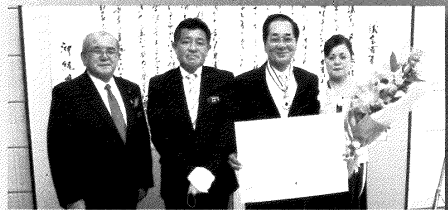
要請(うるま市長・主要政策)
令和3年7月20日



表敬(駐日米国臨時代理大使)
令和3年11月29日



河野大臣来沖
令和2年9月19日



春の叙勲伝達式(池間 淳氏)
令和3年5月27日



表敬(芸能関係者文化講演関係)
令和2年7月28日



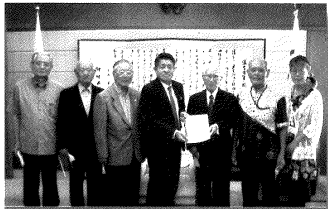
視察(シーワーカー立ち枯れ状況の確認)
令和2年9月9日



陳請(建設産業連合会:R3予算・鉄軌道)
令和2年9月4日



要請(沖縄県シーワーカー加工事業協同組合:
シーワーカーの立ち枯れ対策) 令和2年8月26日



面談(第32軍司令部壕)
令和2年11月25日



表敬(沖縄担当大使)
令和2年11月4日



沖縄復興審議会
令和2年10月28日



沖縄県平和賞
令和2年10月27日



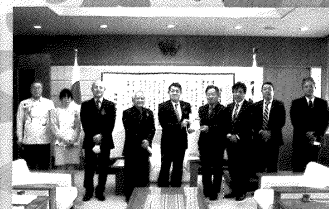
第40回 北方領土返還要求沖縄県民大会
令和3年3月20日



沖縄全戦没者追悼式辞意見交換(仲田氏)
令和3年3月18日



視察(那覇市中心商店街)
令和3年2月17日



要請(沖縄県測量建設コンサルタント
協会緑の募金寄付金) 令和2年12月25日



表敬(在沖米国総領事)
令和3年5月24日



表敬(日本郵便株式会社沖縄支社)
令和3年5月20日



要請(プライダル業界に対する助成)
令和3年5月6日



要請(女性団体連絡協議会)
令和3年4月19日